

2015（平成27）年度 事業計画

社会福祉法人山鳩会
みどりの森

1. 理念・方針

（1）法人理念

①障がいがある人に…

自分の持っている力を発揮しながら、普通の生活を営み、自らが社会に価値のあるものである事に気づき、自己実現していけるよう支援する。

②障がいがある人の家族に…

障がいがある人への思いを受け止め、それを実現していく。

③援助者には…

障がいがある人と共に歩みつつ、自己実現を図るために必要なサービスを提供し、常に向上的である人材に育てる。

④地域の方に…

共に生きていく環境を実現するために、お互いにメリットのある関わりを築いていく。

（2）コンセプト

地域のニーズを取り入れた生産活動を行いながら、地域の活動に参加し、施設利用者の理解に繋がるよう啓発していく。

（3）基本方針

①地域の方々と交流できる行事等を開催すると共に、地域の行事にも積極的に参加し、良好な関係作りを進めていきます。

②生産活動の充実を図ります。

③継続して通所できるように、健康の維持・増進と体力をつけられるように努めます。

④法人内の施設や関係機関との情報交換を行い、法人の組織としての強化に努めます。

⑤第三者評価を実施し、事業に反映しより良いサービスを提供します。

2. 施設概要

（1）施設種別 指定障害福祉サービス事業（就労継続支援B型）

（2）利用定員 31名（現利用者数：33名）

（3）開所年月 平成21年4月

（4）施設規模 敷地面積

延床面積 178.86㎡

建物構造 鉄骨造（地上2階1階使用）

賃貸区分 （土地）民間賃貸 （建物）民間賃貸

3. 職員構成

(1) 雇用契約あり

| 職 種 | 配置人数 |
|--------------|----------|
| 管理者 | 1名 |
| サービス管理責任者 | 1名（兼務） |
| 支援員（常勤職員） | 4名 |
| 保育士（常勤職員） | 0名 |
| 調理員（常勤職員） | 0名 |
| 事務員（非常勤職員） | 1名（兼務） |
| 支援員（非常勤職員） | 7名 |
| 保育士（非常勤職員） | 0名 |
| 調理員（非常勤職員） | 2名（1名兼務） |
| 看護師（非常勤職員） | 0名 |
| 理学療法士（非常勤職員） | 0名 |
| 作業療法士（非常勤職員） | 0名 |
| 合 計 | 14名 |

(2) 嘱託

| | |
|-------------|----|
| 医師（4回／年） | 1名 |
| 看護師（0回／年） | 0名 |
| 理学療法士（4回／年） | 1名 |
| 作業療法士（0回／月） | 0名 |
| 合 計 | 2名 |

4. 利用者状況

(1) 障害程度

| | 1度 | 2度 | 3度 | 4度 | 未定 | 合計 |
|--------|----|-----|-----|----|----|-----|
| 愛の手帳 | 1名 | 12名 | 14名 | 6名 | 0名 | 33名 |
| 身障手帳 | 1名 | 2名 | 0名 | 1名 | 0名 | 4名 |
| 精神保健手帳 | 0名 | 0名 | 0名 | 0名 | 0名 | 0名 |

※身障手帳と重複

(2) 年齢構成（平均年齢 32.0歳）

| | 19歳以下 | 20～29歳 | 30～39歳 | 40～49歳 | 50～59歳 | 60歳以上 | 合計 |
|----|-------|--------|--------|--------|--------|-------|-----|
| 男 | 1名 | 9名 | 4名 | 6名 | 1名 | 0名 | 21名 |
| 女 | 2名 | 6名 | 2名 | 1名 | 0名 | 1名 | 12名 |
| 合計 | 3名 | 15名 | 6名 | 7名 | 1名 | 1名 | 33名 |

最低年齢 男…19歳 女…18歳 最高年齢 男…58歳 女…72歳

平均年齢 男…32.6歳 女…31.1歳

(3) 担当福祉事務所

| | | | | | | |
|------|-----|-----|--|--|--|-----|
| 東村山市 | 清瀬市 | 杉並区 | | | | 合計 |
| 31名 | 1名 | 1名 | | | | 33名 |

(4) 障害程度区分

| | | | | | | | |
|----|----|----|----|----|----|-----|-----|
| 区分 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 未定 | 合計 |
| 人数 | 0名 | 3名 | 5名 | 1名 | 0名 | 24名 | 33名 |

5. 日課

(1) 月～金曜日

| 時間 | 内容 |
|-------------|-----------------|
| 8:30～9:00 | 朝礼・ウォーキング・ストレッチ |
| 9:00～12:00 | 作業 |
| 12:00～13:00 | 昼食・昼休み |
| 13:00～15:30 | 作業 |
| 15:30～15:45 | 清掃 |
| 15:45～16:00 | 終礼・帰宅 |

(2) 土曜日

| | |
|-------------|----------|
| 8:30～9:00 | 朝礼・ストレッチ |
| 9:00～11:20 | 作業 |
| 11:20～11:30 | 作業片付け |
| 11:30～12:00 | 昼食・終礼・帰宅 |
| | |

※状況により変更あり

6. 重点目標

(1) 地域住民と交流できる場面を活用し、地域との良好な関係を築く。

- ①地域や自治会主催の行事に積極的に参加する。(運動会・清掃美化・Tボール試合等)
- ②施設の啓発のため、定期的に広報誌(みどりの森たより)を配布。又、掲示板を活用し情報発信していく。
- ③地域の関係団体と連携しながら協力体制を取る。

(2) 健康・衛生

- ①毎月一回、第3火曜日に市民スポーツセンターを利用し体を動かす。又、昼休みを使いTボールの練習を行なう等、体を動かす機会を多くする。
- ②出勤後、作業開始前に利用者の個々にあわせ、地域周辺をウォーキングする。
- ③定期健康診断・歯科検診・感染症予防注射・歯磨き指導・体重血圧測定を行うなど健康状態を把握し、家庭と情報の共有を図り、必要に応じて医療につなげる。
- ④定期健診のほかにアレルギー検査を実施し、検査結果を基に個々に対応する。

- ⑤ノロウイルス等の感染症予防のため、定期的に消毒し衛生環境を整える。
- ⑥理学療法士の専門的アドバイスに基づき、ストレッチ効果や身体機能の維持向上を図る。

(3) 家庭・地域生活

- ①社会生活を送る上で個々に必要な情報や、社会資源の活用方法を継続的に提供していく。
- ②利用者個々のニーズに即して継続して通所できるよう、家庭と相談しながらサービス利用時間の計画をたて実施していく。

(4) 作業・就労活動

①作業種目

| 作業種目 | 内 容 |
|-----------|---|
| 受託事業 | DM封入・シール貼り・パスタ商品包装・箱折り・菓子箱組み立て・DVDボックス組み立て他 |
| 清掃事業 | 都立中央公園の清掃 |
| 回収等事業 | 古紙・資源回収・リサイクル品回収 |
| ミニバザー | リサイクル品販売 |
| パート・アルバイト | あゆみの家・ハナショウブ |

- ②個々の特性や希望を取り入れ作業種を設定し、作業能力を伸ばし、働く喜びを感じられるように支援する。
- ③自主製品作りに繋がるように裂き織りの作業の取り組みを始める。
- ④業者との安定した関係を継続し、工賃収入が安定できるようにする。
- ⑤ニーズに応じて短時間雇用の開拓・支援（フォロー）を行なう。

(5) 給食

- ①楽しく食べることを基本とし、選択・グループ別給食のメニューはできるだけ利用者の希望を取り入れ充実する。
- ②自分たちで栽培した野菜を給食に取り入れ、季節感を味わう。
- ③給食会議を毎月開き、課題や問題点を検討し食の充実を図る。
- ④個々の身体状況に配慮した（アレルギー対応等）調理方法で食事提供をする。
- ⑤栄養基準量（一人当たりの栄養基準量）

| 熱量 | 蛋白質 | 炭水化物 | 脂肪 | カルシウム | ビタミン | | |
|------------|-----------|----------|-----------|-----------|-----------|-----------|----------|
| | | | | | B1 | B2 | C |
| 775 Kal | 21.1 g | 446 g | 20.7 g | 261 mg | 0.4 mg | 0.5 mg | 38 mg |

(6) 自治会活動

- ①係活動場面やグループでの相談場面を活用し、自分の意思（要望等）を発言したり、他者の発言を聞く事が出来るように支援していく。

(7) 行事

①クラブ活動（隔月実施）

| 種目 | 主な活動場所 | 実施予定日 |
|------|------------------|-------|
| 絵画工作 | みどりの森食堂 | 第3金曜日 |
| 軽運動 | スポーツセンター・公園等 | 第3金曜日 |
| 音楽 | みどりの森作業室 | 第3金曜日 |
| ダンス | 自治会館・集会所・福祉センター等 | 第3金曜日 |

②年間行事予定

| | 内 容 |
|-----|-------------------------------|
| 4月 | 入所式・歓迎花見会・諏訪町Tボール大会 |
| 5月 | グループ別外出 |
| 6月 | 保護者懇談会 |
| 7月 | 宿泊旅行（東北方面） |
| 8月 | 暑気払い・夏期休暇 グループ別外出 |
| 9月 | バザー・諏訪町運動会 グループ別外出 |
| 10月 | 白十字ホームフリマ（音楽交流会） |
| 11月 | 運動会 グループ別外出 |
| 12月 | 仕事納め親睦会・冬期休暇 |
| 1月 | 成人を祝う会・施設まつり（冬まつり） グループ別外出 |
| 2月 | 防災館体験 |
| 3月 | 日帰り旅行・納会 |

7. 防災訓練

(1) 防災

- ①災害時の利用者の安全を図るため、防災計画に基づき月1回防災訓練を実施する。
- ②地域の関係機関・福祉協力員・地元自治会と連携し、非常時に相互支援が出来るような協力体制をとる。

(2) リスクマネジメント

- ①事故対応マニュアルを活用し、迅速に対応できるように努める。
- ②リスクマネジメントに関し職員間で情報共有し定期的にリスク・（ヒヤリハット）の再確認を行なう。

③事故防止チェックリストを活用し、施設外活動等の事故防止に継続して取り組む。

8. 地域との交流

- ①地域の資源回収・ミニバザーなどの場面や日常的な関わりの中で挨拶をする等、良好な関係を築き、地域生活が充実できるようにする。
- ②地域の行事に積極的に参加していく。(運動会・スポーツ大会・防災訓練等)
- ③地域の環境美化に自主的に取り組み地域貢献する。
- ④施設理解に繋げるための情報を発信し、交流の場を提供する。
- ⑤地域の農家の方に指導を仰ぎながら農作物の収穫デ喜びが得られるようにする。

9. 実習生の受け入れ

- (1) 地域の特別支援学校・在宅者の受け入れをする。
- (2) 大学や福祉養成機関からの実習を受け入れる。
 - ①卒後の施設入所に向けた実習を受け入れ、体験により将来の進路選択に繋がる機会にする。(夏休みなどを利用した任意実習も柔軟に受け入れる)
 - ②大学生や福祉専門学校の学生の実習を受け入れ、将来の福祉現場で活躍できる機会を提供する。

10. 父母会、親の会との連携

- (1) 父母会
 - ①毎月1回保護者会を開き、施設に対する理解や協力体制が取れるようにする。
 - ②家族・利用者・職員が一体でコミュニケーションが図れる行事を開催する。
 - ③施設たよりを月一回発行し情報提供する。法人HP等を活用する。
 - ④よりよい支援を実施するため(健康面の管理も含め)家庭と情報交換を密に行なう。
- (2) 親の会
 - ①山鳩会行事部会を中心に双方の連携を図り行事等を円滑に進めていく

11. 職員研修

- (1) 外部・内部研修
 - ①福祉職員としての専門分野の知識や技術を習得し、現場実践に活かす。
 - ②社会人として習得すべき情報や知識が得られる専門外の研修も行なう。
 - ③法人研修部会を中心に全体で研修を行い、施設職員の知識向上・問題解決にあたる。
 - ④法人内の各施設を見学し、他施設の支援等の特徴を学び支援向上に反映する。

12. 会議予定

| 種 目 | 回 数 | 内 容 |
|-------------|-------|------------------|
| 職員会議 | 1回/月 | 定例会議 |
| 常勤職員会議 | 4回/月 | 必要事項について優先し検討 |
| 給食会議 | 1回/月 | 献立・給食に関する検討 |
| ケース会議 | 2回/月 | 利用者の処遇改善に向け検討 |
| 作業・生活会議 | 1回/月 | 各場面の課題について検討、周知 |
| リスクマネジメント会議 | 1回/2月 | 担当を中心に課題の解決に向け検討 |

13. 苦情解決、個人情報保護、権利擁護、セクシャルハラスメント防止

(1) 苦情解決

- ①規定に基づき、問題が発生した場合は親切丁寧迅速に対応し問題解決にあたる。
- ②第三者委員を設置し対応に当たる。

(2) 個人情報保護

- ①規定・個人情報提供同意書に基づき、個人の情報を提供する際は慎重に取り扱い、データの管理を適切且つ安全にする。

(3) 権利擁護

- ①利用者の人格を守り、利用者の主体性を尊重した支援を行う。

(4) セクシャルハラスメント防止

- ①施設内に男女各1名ずつ担当者を設け、防止・対応に当たる。

苦情解決

| | 氏 名 |
|-------|-----------------------|
| 責任者 | 長谷川友子 |
| 担当者 | 牛越 拓生 |
| 第三者委員 | 津田 秦子（元東村山市かめの子学級指導員） |

セクシャルハラスメント

| | 氏 名 |
|---------|-------|
| 責任者 | 長谷川友子 |
| 担当者（男性） | 高橋 竜太 |
| 担当者（女性） | 鈴木ひかり |